

横浜鶴見北ロータリークラブ Yokohama Tsurumi North

2024年～2025年度 会長ターゲット「今日一日」



週報第39号令和7年6月12日発行



「年度末親睦旅行」

横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】 横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】 毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／生方常明 副会長／佐久間務 幹事／松田啓

# 第2445回例会 令和7年6月5日

斉唱 「君が代」  
「横浜鶴見北ロータリークラブの歌」  
奨学生 チン ジャンラムさん

## 創立記念日

祝 康一 会員（6月10日）

## 入会記念日

鈴木元一郎 会員（昭和55年6月5日）

## 会長報告

先週（5月29日）は横浜大空襲の日であったが本日（6月5日）は神戸空襲の日であったという。野坂昭如『火垂るの墓』とこれを原作にした映画が著名であるが、ちょっと調べてみると機銃掃射の弾痕が明確に残っている鉄道橋というものも戦災遺構として知られているようである。

ところで『マンスリー・レター』に渡辺さんが「KURUMANIA 同好会」の記事を書いておられるが、なにかの機会に活動の紹介をいただきたい。（渡辺氏「クレー射撃同好会の原稿も書いてます。）射撃といえば、いろいろな理由によって動物と人との生活圏が接するようになって発生する不都合な事件を理由に動物の駆除が必要となっているという。ふるさと納税などでは駆除された動物をジビエ食材として利用しているというが、実際問題としては狩猟免許所持者の人数や食肉処理施設の建設費用や処理をするための免許が必要であるとか、なかなか人間側だけの事情も大変らしい。

## 結婚記念日

増田 泰成 会員（6月20日）



## 米山奨学金贈呈

米山奨学生 チン ジャンラムさん



## 委員会報告

【鈴木元一郎会員】

- ・ロータリーの友6月号について

【小笠原憲介会員】

- ・一步舎靴磨きとお米の販売について
- ・新旧理事役員会開催案内

## 出席報告

会員総数 32名  
今回確定 22 / 32 = 73.33%  
前々回確定 25 / 32 = 83.33%

## ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

生方 常明 5/30 は大原の三千院で御懺法講という法要に参列してきました。経文すべてに節回しがついて1時間半ほどかかる法要でした。

松田 啓 明日から2泊で青森での青少年交換研究会会議に行って、そのまま年度末親睦旅行に向かいます！よろしく願いいたします。

宮田 豊和 先週は例会を休んだ為、御礼が遅れてしまいました。タイ奉仕活動参加の皆様、ご寄付をいただきました皆様ありがとうございます。お陰様で意義のある活動が出来たと思っております。感謝いたします。

藤林 直美 アグネスようこそいらっしゃいました。

渡辺 直昭 各記念日の皆様おめでとうございます。タイから帰ったと思ったら翌々週はカルガリーです。参ります。

牧井 秀賢 本日グループミーティング発表は田邊さんのピンチヒッターでお話します。

堀野 弘樹 鈴木さん入会記念日おめでとうございます。アグネスさんようこそ。月曜日プログラム委員会ご出席の皆様お疲れ様でした。また、会場を藤林さんにご提供して頂きありがとうございます。お陰で花火が楽しめました。

晝間 勝 各記念日の皆様おめでとうございます。グループミーティング発表の皆様ご苦勞様です。

上澤摩壽雄 各記念日の皆様おめでとうございます。グループミーティング発表ご苦勞様です。

赤塚 一志 グループミーティング発表される方、ご苦勞様です。

上村 政二 本日記念日の皆様おめでとうございます。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

鈴木元一郎 祝康一 石渡宏衛 野村清司  
佐久間務 中西美里 増田泰成 加藤進  
今井新一郎

## 卓 話

### 「グループミーティング発表」 ～新規奉仕活動について～

#### 【Aグループ】

#### リーダー牧井会員・世話役田邊会員

テーマであるこれからの奉仕活動についてから少し外れた内容で活発な意見が交わされた。特に現在当クラブ問題点が多く出されたので発表させていただきます。

#### ・活動計画書について

次年度会長が各委員長に方針を伝えその後各委員会を開催して活動計画書を作成するのだが、委員会を開催せずに活動計画書委員長一人で作成している、各委員より奉仕活動の意見などが反映されていない。

#### ・奉仕活動について

奉仕活動について会員が積極的に参加していない。クラブ活動が活性化せず衰退している様に見える。また会員数が30名を切った現在奉仕活動が出来るのか疑問がある。クラブ存続の危機ではないのか。

#### ・出席率について

ロータリアンの義務の一つに例会出席があり自クラブの例会を欠席した場合、他クラブへメイキャップをして出席率をカバーして来たが、今はメイキャップという言葉自体が死語となりつつある、出席率低い会員には会長幹事が声掛けをして出席率向上への努力をしたが、現在はそれが無い。

また奉仕活動をする場合、メイキャップ扱いになるのかが周知されなくなった。

・ニコニコ会計について

ニコニコ会計はその年度の会長が集める目標額を決め次年度の為に集めるものである。また使える金額は七割程度として次年度に繰り越す。

・新たな奉仕活動について

クラブ会員で個人的に奉仕活動をされている会員がいるのでその奉仕活動をクラブとして一緒にバックアップしても良いのでは無いか？

財源としてはロータリー財団の地区補助金などは最大 3000 ドルまで出るのでこれなどは、活用出来、この元本はクラブ会員が毎年ロータリー財団に支払う寄付より成り立っていますので当クラブは地区でも優秀クラブですので比較的簡単に地区補助金があります。是非有効利用しましょう。

## 【Bグループ】

### リーダー天野会員・世話役松阪会員

まず、現在実施中（予定）の奉仕活動の現状を確認しました。優良警察官・消防職員表彰、インターアクターらを対象にした職場見学、盲導犬協会への支援、ヨゼフ学生の見学サポート、鶴見支援学校への環境整備等。なお、美容師によるホームでの散髪はコロナ禍以後、実施できていないとのこと。

次に過去実施していた奉仕活動（再開の可否等）等についても協議しました。一步舎への支援活動（米販売、靴磨き）についても一步舎のニーズを確認の上、できることをやっていくべきとの意見でした。以上を踏まえ、改めて新規奉仕活動について協議をしようとしたのですが、そこで、上澤会員から質問及び異論が出されました。まず、今回の新規奉仕活動は、どの年度を対象とするものなのかと質問され、天野が、今期はもうすぐ終わりだし、次年度以降だろうが、特に特定の時期を対象とするものではない、と回答すると、次年度だとすると、それは次年度の各委員会が既に活動計画を策定中で、年度初めに出されるはず、それとの整合性はどうなっているのか、との質問があり

ました。天野が、あくまで、これは委員会ではなく、将来考えられる新規事業について全会員でグループミーティングで議論するもの、ミーティング結果を踏まえ、その意見を次年度各委員会がどうするかは委員会マターで、次年度の実施は無理でも次々年度以降に今回のミーティング結果を参考に新規事業を考えればよいのではないかと回答しましたが、上澤さんは納得せず、本来委員会で議論して活動計画を立て、それに基づいて奉仕活動を行っていくのが、ロータリーの組織の在り方で、それをこんな年度の終わりに、組織との整合性もよく分からないのにここで話し合うのはおかしいのではないかと、として、議論は平行線のまま時間になりました。

まず、今回のグループミーティングですが、今期一度も実施のない中、理事会で、今期このままなしにしてしまおうかとの慣れ合い的な雰囲気もあった中、理事の牧井さんから、やはり会としての決めごとはきちんとやるべき、なし崩し的になしにしてしまうと組織がおかしくなる、との趣旨の意見が出され、突貫工事で実施が決まった経緯があります。その中で、天野が、どうせやるなら抽象的なテーマではなく、具体的で実践的な話をしたい、として提案したのが、今回のテーマでした。近年新しい会員さんが入ってきてクラブが活性化される状況になりながら、コロナ禍もあり活動自体は従前からのもので実施されています。一方で中西さんのようにご自身で積極的に奉仕活動を行っている方や天野会員と違って奉仕活動自体に関心の高い新しい会員が何人もいることを踏まえると、新規事業をテーマに会員全体でミーティングを行えば、何か参考になるアイデアが出てクラブ活性化に繋がるのではないかと考えました。しかしながら、上澤さんが鋭く指摘したように、各委員会との整合性や対象年度については全く考えていませんでした。牧井さんの意見も根底でそうだと思いますが、2人の意見を伺い、私自身、ロータリーで長年のキャリアがありながら、ロータリーの組織やルール、システムに対する意識が非常に甘く、もしかすると最近クラブに蔓延しているかもしれない馴れ合い、というか、

まあいいんじゃないという雰囲気甘え、あるいは自分がそれを積極的に作り出しているのではないかと感じました。

新規事業に関する自分お考えは述べたとおりであり、せっかくなら今回のミーティングで一つでも二つでもアイデアが出ればよいと今でも思っています。

しかしながら、今回のミーティングを通じて、痛切に感じたのは、クラブを組織としてしっかり運営すること、そのために各自が与えられた役割を果たすことの重要性です。上澤さん、牧井さんのご意見を通じて天野自身今それができていないと感じています。そういえば、渡辺さんがさんざん地区やR Iの話を生懸命しても馬耳東風でした。その点も含めとても反省しています。

### 【Cグループ】

#### リーダー佐久間会員・世話役小笠原会員

上村さん、鈴木さん、赤塚さんから貴重なお話を伺いながら、キーワードとして、「社会奉仕」とは何かということを協議しました、鶴見におけるロータリーとしてできる活動は何か、こどもや未来のためにできることは何かという視点が提供されました。メモから、当日の検討を少しかいつまんで準にお話しさせていただきたいと思います。

話した内容から言葉足らずだったりするところもあるかと思うのですが、また、メモが間違っているところがあるかもしれませんが、語弊を恐れずお伝えしたいと思います。

宮田さん：来年青少年奉仕 青少年奉仕は、青少年への貢献 広い意味で米山も支援活動の一部。最近、日本が貧乏になっている。進学したくてもできないという事情がある。できれば、海外も大事だが、GDP、台湾、韓国にも推されている。国内も大事だと感じている。ヨゼフさんは良いが、もう少し機会に恵まれない方に、何か話ができないかまた、仲亀さんが大変である。仲間として何かできることがないかと思っている。全然コンタクトが取れていないという点。

多田さん：昨日、教員で30代で奨学金の返済をしている方がいる。30代半ばで月々2万円ずつ返済している方がいる。私学であっても格差がある。奨学金を申請する、推薦状を書くということについて、年々申請の数が増えている。国内でも増えている。

宮田さん：400万円以上の借金が残っているという方もある。

多田さん：雑誌の紹介であったが、奉仕という心を育むというのが薄くなっている。インターアクトでもそうだが、盲導犬なども協力をいただいているが、小学生くらいから芽生えるようなのができればと。

簡さん：奉仕の解釈＝サービスである。有償であるという解釈になっている。自身の仕事の能力を活かすのだ。

赤塚さん：

鈴木さん：ロータリーの奉仕とは、問う。私が勉強した奉仕は、与えることでもない、お金を出すことでもない。米山の生徒を預かるが、生活を補助するためではなく、日本との橋渡しをする人を育てるというもの。働かなければならない奨学生は、助けるということがあるが、お金ではない。大学生にすれば、学業が本分。交流を通じて、勉強以上のものが得られるから例会に出ておいでということになる。その人を育てることである。自分を育てる延長上で、人を育てるのだ。

中西さん：未来を生きるこどもたちに何かを残してあげること。地球を壊れてしまっている、元に戻らないかもしれないけど、生きていけるように、活動をしている。

簡さん：幹事の時に、横浜港北RCの桑原さんが会長だった。その時に、ロータリーにおいて「奉仕」と誤訳したのだという話。1つ目が、大きいのが、継続活動が多すぎるという問題点である。自己研鑽が奉仕をするための人になるための活動である。直接奉仕するというのではないのだ。学習したら、個人的に行えば良いのだという話。ロータリーとしては、個人としての人格を作るという反しをもらった。2つ目

が、職業奉仕につながるかもしれないが、普段の仕事、生き方というような考え方。対価、サービスの質を、ちゃんとしたもの、世の中に貢献できるものにしていこうというもの。そのようなニュアンス。実は奉仕していくこと自体は、クラブとしてずれていくのではないか。中西さんが入ることで、冷蔵庫の活動などの知識を得たり、石渡さんからタイの山岳民族ということであったり。世の中で求められているということがわかったら個人が取り組んでいくことがいいのだろうと思う。3つ目、世界平和もある。米山やポリオ、これは継続的、大目標として取り組んでいる。自分たちの研鑽と、長期的な世界平和貢献という視点。

上村さん：世の中には、ロータリアン以上に目に見えない奉仕をしている人がいっぱいいる。奉仕ということ自体は、逆に控えるべきだと思っている。自分の気持ちに出てきた時には、ルールに従って奉仕に貢献すれば良い。人格形成の場であるということを考えるべき。

松田さん：子どもたち IA の子にコンペ的に奉仕活動を検討してリサーチしてもらおう。実現に費用がいくらかかるかも調べて、提案してもらおう。場合によっては、ロータリーとして実現できるのではないかな。

佐久間さん：海外の支援は悪いことではない。国際奉仕以前に、最近、3.11の東日本大震災がどうなっているのかとか、熊本の大地震、能登は？国内で見るとべきものはいっぱいある。国外はもちろんだが、国内についてもっと目を向けるべきではないか一歩舎さんとの付き合いも疎遠になっている。口に出していないが、フラワーバザーも中止になっており、資金源が苦しいだろう。再構築して、見直して、ロータリーの独りよがりではなく、先方のニーズに応える。子ども食堂はコロナ禍において素晴らしい活動だった。が、さらに他もやっている。ロータリーでなければできないことをやる。鶴見の街に貢献できることをもっと検討するべき。特別支援学校も含め、もっと継続的事業として、続けられたら良いのではないかな。

生方会長：フェードアウトした？

- ・いつも上原さんから、提案しろと言われる。
- ・鶴見が抱える問題って何なんだろう。
- ・自分は選択肢を知っている、選択できることが裕福。
- ・子ども食堂で、仕事を紹介してほしい、知らせたいという話。

## 活 動 予 定

- 6月19日（木）理事役員新旧顔合わせ会
- 7月 3日（木）クラブ協議会
- 7月17日（木）ガバナー公式訪問

## 例 会 予 定

- 6月19日（木）新横浜グレイスホテル
- 6月26日（木）新横浜グレイスホテル
- 7月 3日（木）新横浜グレイスホテル
- 7月10日（木）新横浜グレイスホテル

## 第13回理事役員会議事録

- (1)5月会計報告承認→承認
- (2)新入会員候補の件→承認
- (3)仲亀会員休会について  
→休会はせず、出席できる時に出席したいとのことで、在籍希望であるとの報告。
- (4)次年度会長エレクトの件  
→新任を選出し、指名委員会で指名する。
- (5)一步舎さんの靴磨き費用負担の件  
→今期から一足800円。コロンブスからの援助は見込めない。その代わり、クリームや道具については援助してもいいのではないか。必要なものについては一步舎さんに直接聞いてみる。
- (6)一步舎さんへお米の支払いの件→承認
- (7)蜂須賀会員の件→経過報告
- (8)三ツ池公園フェスティバル収支報告→承認
- (9)タイ国際奉仕収支報告→承認

2025-2026年度

## 第1回理事役員会議事録

- (1)理事会、組織について→承認
- (2)組織表承認の件→加筆修正
- (3)職業分類の件→承認
- (4)定款細則について→承認
- (5)例会について→承認
- (6)会長ターゲットについて→検討中
- (7)新横浜グレイスホテル例会食費値上げによる会費の改定について→承認
- (8)予算について→加筆修正
- (9)カバナー公式訪問について→承認
- (10)年間行事予定について→承認
- (11)聖ヨゼフインターアクトクラブ→承認
- (12)直前会長・幹事慰労会の開催について  
→親睦にふって、祝さんで詰める。7月中。  
7月の理事役員会で会計閉めた後。

**2025年5月出席表**

例会平均出席率 84.21% (例会数4回)

会員氏名	ホーム	メイクアップ	合計	ホーム%	合計%
赤塚 一志	4	0	4	100	100
天野 直樹	3	0	3	75	75
石渡 宏衛	4	4	8	100	200
祝 康一	4	1	5	100	125
今井新一郎	2	3	5	50	125
上原 良廣	3	0	3	75	75
生方 常明	3	0	3	75	75
小笠原憲介	3	1	4	75	100
加藤 進	3	0	3	75	75
上澤摩壽雄	4	0	4	100	100
上村 政二	4	0	4	100	100
簡 伸治	3	1	4	75	100
合谷 保爾	4	0	4	100	100
佐久間 務	4	0	4	100	100
鈴木元一郎	3	0	3	75	75
多田 信哉	1	0	1	100	100
田邊 勝久	4	0	4	100	100
長澤 尚明	3	1	4	75	100
仲亀 晃央	0	0	0	0	0
野村 清司	4	1	5	100	125
中西 美里	4	0	4	100	100
蜂須賀達寿	0	0	0	0	0
晝間 勝	3	0	3	75	75
藤林 直美	4	3	7	100	175
堀野 弘樹	4	2	6	100	150
牧井 秀賢	4	0	4	100	100
増田 泰成	4	1	5	100	125
松阪 脩平	2	0	2	50	50
松田 啓	4	0	4	100	100
松原 淳一	0	0	0	0	0
宮田 豊和	3	1	4	75	100
渡辺 直昭	4	5	9	100	225

**ホーム100%会員**

赤塚一志 石渡宏衛 祝康一 上澤摩壽雄 上村政二 合谷保爾 佐久間務 野村清司  
 中西美里 田邊勝久 藤林直美 堀野弘樹 牧井秀賢 増田泰成 松田啓 渡辺直昭